

令和7・8（2025-2026）年度複合構造委員会 第5回幹事会 議事録

日 時：令和8（2026）年1月29日（木）14:00～17:00

場 所：土木学会B会議室，Web併用(Zoom)

出席者：大山委員長，北根副委員長，平幹事長，川端幹事，塩畑幹事，高橋幹事，内藤幹事，中田幹事，
中原幹事，中村幹事，橋本幹事，藤林幹事，藤原幹事，皆田幹事，山上幹事，山本幹事，横田幹事
(敬称略) (下線：オンライン参加，取消線：欠席)

配布資料：

- 幹5-0 令和7・8年度複合構造委員会第5回幹事会議事次第
- 幹5-1 令和7・8年度複合構造委員会第4回幹事会議事録（案）
- 幹5-2 令和7・8年度複合構造委員会第2回委員会議事録
- 幹5-3 令和7・8年度複合構造委員会幹事会業務分担
- 幹5-4 メール審議事項の報告
- 幹5-5 重点研究課題の審査結果
- 幹5-6 令和7年度委員会予算執行状況
- 幹5-7-1 令和8年度土木学会全国大会・研究討論会企画の募集について
- 幹5-7-2 全国大会研究討論会実施記録
- 幹5-8 企画について
- 幹5-9 新規小委員会・設立趣意書
- 幹5-10 複合構造委員会HPについて
- 幹5-11 シンポジウム小委員会(H001)
- 幹5-12 土木学会論文集特集号（複合構造）(H005)
- 幹5-13 複合構造の継続教育（H006）
- ~~幹5-14 300年暴露プロジェクト小委員会報告（H007）~~
- 幹5-15 20周年記念式典（H008）
- 幹5-16 出版関連報告
- 幹5-17 H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会
- 幹5-18 H111 カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会
- ~~幹5-19 H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会~~
- ~~幹5-20 H221 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会~~
- 幹5-21 H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会
- 幹5-22 H223 弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会
- 幹5-23 H224 AIを活用した複合構造物のリサイクルマネジメントの高度化に関する研究小委員会
- 幹5-24 親委員会（第3回以降）での報告・発表について
- 幹5-25 2026（R8）年度スケジュールについて
- 幹5-26 第6回幹事会について
- 幹5-27 複合構造委員会小委員会一覧

議事内容：

1. 委員長挨拶

大山委員長より、開会の挨拶があった。

2. 複合構造委員会第4回幹事会議事録(案)確認 (幹 5-1)

山本幹事より、第4回幹事会の議事録(案)の説明があり、以下を修正することで承認された。

- ・ 2. 複合構造委員会第2回幹事会議事録(案)確認 → 2. 複合構造委員会第3回幹事会議事録(案)確認

3. 複合構造委員会第2回委員会議事録 (幹 5-2)

平幹事長より、令和7・8年度第2回複合構造委員会議事録について、事前のメール審議により承認済みであることが報告された。

4. 令和7・8年度複合構造委員会幹事会業務分担 (幹 5-3)

平幹事長より、令和7・8年度複合構造委員会幹事会業務分担について説明があった。

- ・ シンポジウム小委員会(H001)実行WGに、藤原幹事と横田幹事が加わることを確認された。後日、平幹事長より親委員会に対し、メール審議を依頼する。

5. 審議、報告事項 (幹 5-4, 幹 5-5)

平幹事長より、審議事項とメール審議事項について説明があった。

(1) カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会(H111)の委員について

- ・ 畑 明仁様(大成建設)の委員追加が確認された(任期2026年10月まで)。後日、平幹事長より親委員会にメール審議を依頼する。

(2) 2026年度「重点研究課題(研究助成金)」について

- ・ 構造工学委員会、複合構造委員等が推薦した研究課題「未曾有の自然災害における構造物挙動を考えるための若手技術者による専門知の集結と研究テーマ探索」が採択された。平幹事長より親委員会と参加委員に本研究課題が採択されたことを報告する。
- ・ 親委員会に研究小委員会は設置せず参加委員から随時状況報告をいただき、平幹事長から幹事会に報告することが確認された。
- ・ 櫻庭浩樹様(土木研究所)、玉野慶吾様(鹿島建設)、神山宙大様(高速道路総合技術研究所)の3名が参加する。ほかに参加希望の若手技術者がいれば、平幹事長に連絡のこと。

(3) メール審議事項報告

- ・ シンポジウム小委員会(H001)の委員について、櫻庭浩樹様(土木研究所)の追加が承認された。
- ・ カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会(H111)の委員について、佐藤顕彦先生(京都大学)の追加が承認された。高木委員(DIC マテリアル)の退任が報告された。

6. 令和7年度委員会予算執行状況 (幹 5-6)

平幹事長より、令和7年度予算執行状況の報告があった。

- ・ AIを活用した複合構造物のライフサイクルマネジメントの高度化に関する研究小委員会(H224)で、会議費(会議室代)を支出している。内藤幹事より岡崎事務局に処理状況を確認する。

- ・カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会(H111)で、2/10 講習会の講師謝金と弁当代として約 6 万円の支出予定がある。その他、IABSE 年会費の約 3 万円、現場見学会(3 月)の手土産代の支出予定がある。
- ・来年度の研究小委員会活動のため、複合構造標準示方書を数冊購入してはどうかとの意見があった。

7. 令和 8 年度全国大会・研究討論会について（幹 5-7-1,幹 5-7-2）

平幹事長より、令和 8 年度全国大会・研究討論会について説明があった。

- ・複合構造技術の発展に関する調査研究小委員会(H109)の成果と、20 周年記念式典のパネルディスカッション（複合構造の今後 2025～複合構造委員会の進むべき方向性）を基に、H109 に参加していた幹事会委員で検討する。
- ・応募（3/6 締切）は平幹事長が対応する。それまでに案をまとめて幹事会にメールで確認する。

8. 企画について（幹 5-8,幹 5-9）

(1) 新規小委員会立ち上げ

1) 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会(H103)

大山委員長より、本小委員会の再開について説明があった。

- ・「基礎からわかる複合構造－理論と設計－」を 2024 年制定複合構造標準示方書に準拠して改訂する。
- ・活動再開なので新規小委員会設置としての親委員会審議は不要である。小委員会委員長は、大山委員長が就任する。

2) 複合構造標準示方書小委員会(H101)の継続小委員会

平幹事長より、(仮)複合構造標準示方書適用検討小委員会（準一種小委員会）の設立趣意書案について説明があり、幹事会で以下について確認した。

- ・次期複合構造標準示方書の改訂に向けての活動として、適用場面ごとの各標準・各編の一覧の整理、性能照査例の作成と、これまでの準一種小委員会の活動成果から検討課題を抽出する。
- ・小委員会委員長は北根副委員長、小委員会幹事長は池田学様(鉄道総合技術研究所)として、委員は幹事会の意見も踏まえ検討する。複合構造標準示方書小委員会(H101)委員と新規メンバーで構成し、実務者も入っていただく。
- ・複合構造標準示方書小委員会(H101)は改訂版が発刊され休止となる。次期改訂では新たに小委員会委員長を決定して再開する予定である。
- ・年度内に親委員会で小委員会設立を審議後、参加委員をあらためて審議する。

3) 新材料・新工法を用いた複合構造に関する調査研究

藤林幹事より、中村顧問より提案いただいたテーマ案について説明があった。

- ・秋田大学で木材と鋼材を取り扱った研究が行われている。秋田県立大学には木材の研究所がある。
- ・高橋幹事より、秋田大学の先生に複合構造委員会としての調査研究テーマに繋がるか問合せを確認する。

(2) 現場見学会の実施について

藤林幹事より、現場見学会の実施について説明があった。

- ・現場見学は高槻高架橋東工区となった。高槻高架橋西工区の合成床版を見ることも可能である。
- ・開催日は 3/16(月)、20 名程度の参加募集として、企画 WG から親委員会に案内をする。
- ・案内には、旅費（自己負担）、服装（作業着着用について現場に確認）、所属機関から複数名参加希望の場合は要相談であることを記載する。

9. 複合構造委員会 HP について (幹 5-10)

横田幹事より、複合構造委員会 HP の更新状況について報告があった。

- ・ English site の修正方針について確認した。
- ・ 出版物は土木学会ホームページを確認して購入可能な図書のみとし、小委員会は全て掲載する。
- ・ 名簿の肩書に修正があれば横田幹事に連絡する。
- ・ 親委員会や小委員会名簿については、基本的に開始時点の情報とし、委員から修正依頼があれば対応する。

10. シンポジウム小委員会 (H001) (幹5-11)

山本幹事より、シンポジウムの活動状況について報告があった。

- ・ 第11回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウムは、11/5(木)～6(金)に土木学会(ハイブリッド)で開催する。
- ・ 第10回の収支を勘案し、第11回は正会員の参加費を1,000円アップする。
- ・ 第2回シンポジウム小委員会を4/23(木)、24(金)に、現場視察も含め島根大学で開催する。

11. 土木学会論文集特集号(複合構造) (H005) (幹5-12)

大山委員長より、土木学会論文集特集号(複合構造)について報告があった。

- ・ 投稿論文(12/25(木)締切)は、14編(論文7編、報告7編)となった。
- ・ 展望論文(西崎 到様)と小委員会報告(H101, H109, H220)は、締切1月末で依頼している。
- ・ 2/17(火)と2/19(木)の2日に分けて判定会議を行い、査読結果を審議する。
- ・ 各論文は、6月末にJ-STAGEへアップロードされる予定である。
- ・ 展望論文や小委員会報告等の掲載費用も含め、特集号の収支について事務局に確認する。

12. 複合構造の継続教育 (H006) (幹5-13)

中村幹事より、複合構造の継続教育の活動状況について報告があった。

- ・ 2026年度は複合構造セミナーを2回開催する予定で、1回目は講義形式(複合構造(合成はり、合成版)またはFRP構造等を検討中)と、2回目は講演形式もしくは現場視察を検討している。
- ・ 講演形式の場合は複合構造委員会に所属していない外部講師を検討した方がよい、講義形式の講義内容はFRP構造の要望がある等の意見があった。
- ・ 実構造物のFEM解析事例の講義については、中村幹事より構造工学委員会に連携できないか確認する。
- ・ 2/10(火)に開催する「カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する講習会」は、オンライン(定員500名)が満席となっている。プログラムは2/5を目途に最新版に更新する。

13. 300年暴露プロジェクト (H007) (資料なし)

平幹事長より、各暴露試験の状況を確認して委員会を開催するとの報告があった。

14. 20周年記念式典 (H008) (幹5-15)

皆田幹事より、20周年記念式典・祝賀会の開催報告があった。

- ・ 式典59名、祝賀会46名の参加申込みで、収支は黒字となった。

- ・ 20周年記念式典・祝賀会に関する資料は、H008のウェブファイルマネージャーに全て保存した。
- ・ 委員会報告として、土木学会誌に20周年記念式典の開催報告を投稿した。
- ・ 記念誌の電子データは、式典参加者に限定して取り扱い注意として配布することとする。
- ・ 祝賀会集合写真の電子データは、祝賀会参加者全員に送付する。

15. 出版関連報告（幹5-16）

中田幹事より、出版物の販売状況について報告があった。

- ・ 新たに「複合構造の現状と分析2025」の販売実績が掲載された。

16. 小委員会報告・審議事項

(1) H109：複合構造技術の発展に関する調査小委員会（幹5-17）

平幹事長より、行事報告書の説明があった。

- ・ 52名の参加申込みで、収支は黒字となった。

(2) H111：カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会（幹5-18）

中村幹事より、活動状況について報告があった。

- ・ 各WGを開催して、2/10(火)「カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する講習会」に向けた取り組みを行っている。

(3) H221：樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会（資料なし）

平幹事長より、報告書を執筆中で報告会は来年度になるとの報告があった。

(4) H222：複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会（幹5-21）

内藤幹事より、活動状況について報告があった。

- ・ 試験体を製作中で、コンクリートの打込み日（2/24）に委員会を開催する。
- ・ 4月～6月に東北大学で各1体ずつ載荷実験を実施する。1体目の載荷試験時は、東北大学ナノテラスの見学会を行う。載荷試験は幹事会にも見学案内をする。
- ・ 今年度の予算執行として、ひずみゲージの購入を予定している。
- ・ 山上幹事の委員会参加が承認された。

(5) H223：弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会（幹5-22）

山本幹事より、活動状況について報告があった。

- ・ 1/16に委員会を開催し、WG構成を確認した。今後は各WGで活動する。
- ・ 委員会活動終了（委嘱期間）の令和9年3月までに報告書の骨子をまとめる予定だが、進捗によっては活動期間の延長を検討する。

(6) H224：AIを活用した複合構造物のライフサイクルマネジメントの高度化に関する研究小委員会（幹5-23）

内藤幹事より、活動状況について報告があった。

- ・ 12/16に第1回委員会を開催した。5月～6月にリニア実験線跡(宮崎県)の視察を予定している。
- ・ 構造工学委員会 AI・データサイエンス論文集編集小委員より依頼があり、協力委員会として加わる事が確認された。また、レビュー論文や展望論文の執筆依頼があり、委員会活動が進捗した段階で投稿する。
- ・ H224が終了後も、複合構造委員会にデータサイエンス関係の委員会を設置して協力していくことも考えられる。

17. その他

平幹事長より、下記の報告があった。

(1) 親委員会（第3回以降）での報告・発表について（幹5-24）

- ・ H221の報告会開催日が未定のため、終了委員会報告は第4回委員会以降となる。

(2) 2026（R8）年度スケジュールについて（幹5-25）

- ・ 2026(R8)年度の親委員会，幹事会の日程は，大山委員長，北根副委員長と調整して決定する。
- ・ 次期親委員会の任期を6月からに変更することを考慮して，2027(R9)年4月頃に引き継ぎのため第13回幹事会の開催を考えている。

(3) 第6回幹事会について（幹5-26）

- ・ 第6回幹事会は，3/6(金)に新東名河内川橋の現場見学と合わせて開催する。

18. 閉会挨拶

- ・ 北根副委員長より，閉会の挨拶があった。

以上
(記録：皆田)